

(別紙様式例3)

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 8年 2月28日

事業所名： 東予こどもデイ青空

(西条市 大町)

事業所スタッフ及び保護者の皆様のご意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かして参ります。

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 |
|---------|--|----------|-----------|-----|--|----------|-----------|-----|-------|-----------|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 ① | ○ | | | 定員10名利用の際は、特性に応じ、室内・室外に分かれたり時間差を用いるなど、配慮を行っています。 | 92% | | | 8% | | ・2階部分の使用については規制が多く断念しました。 |
| | 2 職員の適切な配置 ② | ○ | | | 法定人数を守りつつ、手厚い支援が必要な利用児の特性に合わせた人員配置に努めています。 | 75% | | | 25% | | ・引き続き、安全確保と支援の質向上のため、余裕ある配置に努めます。 ・強度行動障害に対応するため、若手が資格取得しました。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備 ③ | ○ | | | その時々で必要な環境は作っていると思いますが、設備自体は適切か？ ICT機器の利用なども考慮していきたい。 | 83% | | | 17% | | ・引き続き利用児の特性に合わせた環境整備・情報伝達方法の改善に努めます。 ・スケジュールの明示方法について改善を図っています。 |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 ④ | ○ | | | 毎日徹底した清掃と除菌、加湿、換気に努めています。 併せて、危険物や危険個所が発生していないか、スタッフ全員でチェックしています。 | 92% | | | 8% | | ・今後も、新型コロナ等感染症対策の徹底を図って参ります。 |
| 1 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画 ⑤ | ○ | | | 振り返りが不十分。 | / | / | / | / | / | ・シフト勤務のため全員参画の工夫を凝らして、今後もチーム大町で取り組みます。 |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|----------|---|----------|-----------|-----|--|----------|-----------|-----|-------|------------------|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 業務改善 | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 ⑥ | | | ○ | 第三者評価は受審していません。 | / | / | / | / | / | ・第三者外部評価はハードルが高いですが、今後も外部機関との連携を図り業務改善に取り組みます。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 ⑦ | ○ | | | 毎月外部講師を招いて、リモート等で社内研修を行っています。 | / | / | / | / | / | ・強度行動障害児支援に対処するため、若手スタッフが資格取得し、支援の記録・評価等中心的に動いてくれています。 |
| 適切な支援の提供 | 1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。⑧ | ○ | | | 公式HPに掲載するとともに、保護者にも配布しています。 | 92% | | | 8% | | ・支援プログラムは支援の基本方針なので、見直しに合わせて保護者様と一緒に評価していきたい。 |
| | 2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成 ⑧ | ○ | | | もっと色々なアイデアを出し合って、計画策定に携わっていきたい。 | 92% | | | 8% | | ・定期モニタリングに加え、送迎時や電話等での意見交換の機会を捉えて利用児の変化とニーズの把握に努めます。 |
| | 3 放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 ⑨ | ○ | | | 利用児の支援に必要な項目の設定や支援内容をスタッフ全員で、もっと勉強しないとイケない。 | 100% | | | | | ・計画がガイドラインに沿ったものになっているか？再確認するため、5領域の関連などの勉強会をおこないます。 |
| | 4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成 ⑩ | ○ | | | 放デイ計画を作成出来るように、スキルアップを図りたい。 | / | / | / | / | / | ・引き続き、個別と集団の組み合わせ・バランスを考慮した個別支援目標となっているか、再確認します。 |
| | 5 放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 ⑪ | ○ | | | 計画に沿ってはいるが、利用児の成長などで目標が変わってくることもあるので、柔軟に対応したい。 | 92% | | | 8% | | ・定期的に計画の内容をチェックして、ズレが生じていないか、検証・修正していきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 |
|---------------------------------------|---|----------|-------------------|---|---|----------|-------------------|---------|-----------|--|--|
| | | はい | どちら ともい えない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちら ともい えない | いい え | わから ない | 保護者の方のご意見 | |
| 適切な支援の提供（ 続き） | 6 チーム全体での活動プログラムの立案 ⑫ | ○ | | | ミーティングで、利用児の特性・支援計画との整合、リスク評価などを協議して、考慮して立案するよう努めています。 | | | | | | ・感染症対策のため制約が多い中ですが、チーム大町でのフリートークで妙案を出し合いたい。 |
| | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 ⑬ | ○ | | | 出来る限り固定化しないように努めてはいますが、ルーティンが必要な利用児がいるため、一部固定化してしまう傾向は確かにあります。 | 100% | | | | | ・感染症対策の制約がありますが、利用児のブームや職員の奇抜なアイデアをもとに、月間予定に反映させ、個々の支援計画にもリンクさせていきたい。 |
| | 8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 ⑭ | ○ | | | 課題は設定していますが、その日その日で状況が変わるので、きめ細かくは難しい時があります。 | | | | | | ・利用児の特性や課題を把握の上、利用頻度に応じた活動を計画・実施につなげたい。 |
| | 9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 ⑮ | ○ | | | 毎日ミーティングを行って話し合い、記録に残し、利用児の特性に合わせたリスク回避対策も確認しています。 | | | | | | ・これまで同様毎日のミーティングを行い、活動内容、安全感染対策の確認周知の上、チーム大町で支援にあたります。 |
| | 10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 ⑯ | ○ | | | 振り返りは、職員同士が自然に話し合える環境にしています。 全員揃っての振り返りが難しいので、LINEグループ、共有ノートへの記録、全員へのメール報告など、適確な共有に努めています。 | | | | | | ・これまで同様一日の振り返りをしっかり行い、整理して記録にとどめ、より良い支援方法の検討や利用児の現状把握を行い、課題を炙り出し、支援に活かします。 |
| 11 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 ⑰ | ○ | | | シフト勤務のため、より詳細な記録を後日補足するなどして、記録に努め、活動後の振り返りを行っています。 記録の精度に差が出ないように、気づきを交流します。 | | | | | | ・感染症対策における記録の重要性も増しているため、正確詳細な記録により、変化を見逃さず、支援の改善につなげたい。 | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|--------------|--|----------|-----------|-----|---|----------|-----------|-----|-------|-----------|--|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | | |
| 関係機関との連携 | 12 定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し ⑩ | ○ | | | 定期的実施を継続していますが、利用児の生活環境が大きく変化しそうな際には、先行実施します。 | | | | | | ・現在は定期的開催としているが、利用児の顕著な変化が見られる時は、先手の見直しを実施します。 | |
| | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 ⑨ | ○ | | | 児発管が主ですが、必要に応じ、担当児童指導員も参加します。 | | | | | | ・同左 | |
| | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 ⑳ | | | | 対象児がいません。 | | | | | | | |
| 関係機関との連携(続き) | 3 (療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 ㉑ | | | | 対象児がいません。 | | | | | | | |
| | 4 放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 ㉒ | ○ | | | 情報共有は相談支援専門員を通じてのものが主となりますが、明確な課題が生じれば、直接問い合わせをしています。 関係機関での支援会議には、必ず出席しています。 持ち帰った支援内容の情報共有の場を設けることが弱く感じる。 | | | | | | ・主な内容は相談支援専門員から得るが、学校お迎え時などの機会を捉えて、情報共有の深掘りを行いたい。 | |
| | 5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供 ㉓ | | ○ | | 情報を求められれば情報提供を行っています。 | | | | | | ・主な内容は相談支援専門員が担うが、必要に応じて情報提供と連携を行っていききたい。 | |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 ㉔ | ○ | | | 助言や研修を受けるチャンスが欲しい。 | | | | | | ・専門機関とは、診断書など文書中心となるが、必要に応じこちらから積極的に課題に資するアドバイスを求めている。 | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|----------------|--|----------|-----------|-----|---|----------|-----------|-----|-------|--------------------------------------|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 7 | 放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 ㉔ | | ○ | | 外出先の児童公園で自然発生的に交流が生まれることがあるので、積極的に活動予定に入りたい。スタッフと一緒に大きな声での挨拶を奨励実施しています。 | 42% | 16% | | 42% | ・お祭りを見に行ったり、公園へ行ったりして、そのような機会もあると思う。 | ・今後も、公園やお出かけの時、出会った地域の子も達や住民の方々とのスムーズで友好的な交流を心掛けていきます。 |
| | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 ㉕ | | ○ | | 地域の自治会に加入しており、可能な限り役割を担っています。中には子ども達を気遣ってくれ、いつも窓越しに声をかけてくれるお婆さんがいます。 | | | | | | ・引き続き地域に住む方々とのコミュニケーションを取る様、心掛けていきます。 |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 運営規程、支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 ㉖ | | ○ | | 自分自身が理解不足の状態です。 | 100% | | | | ・ミーティングで丁寧な説明がある。 | ・利用契約締結時には説明資料を用いて、丁寧な説明を心掛けています。 |
| | 2 放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 ㉗ | | ○ | | | 100% | | | | ・年2回のミーティングで良い話し合いができています。 | ・アセスメント内容を確認しながら、支援の目標、支援方法などの丁寧な説明を心掛けます。 |
| | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 ㉘ | | ○ | | きちんと話を聞いて、必要に応じて対応していると思う。 | 42% | 25% | | 33% | ・面談やミーティングでは勉強になり、助かっている。 | ・力不足のため、お話を拝聴するスタンスですが、ご家族のお気持ちに寄り添い、視点を変えた提案等が出来る様、努めたい。 |
| 保 | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 ㉙ | | ○ | | 毎日の送迎時に様子をお伝えしています。 | 100% | | | | ・丁寧にミーティングでディスカッションしている。 | ・今後も、利用児の状況を保護者様に積極的に発信して、また感想を伺い、共通理解を深めていきたい。 |
| | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 ㉚ | | ○ | | 対応の体制の整備をもっとわかりやすく周知できたらと思う。 | 92% | | | 8% | ・面談やミーティングでは勉強になり、助かっている。 | ・引き続き、保護者様からの相談に適切に応じられるよう、知識やスキルを身に付けたい。 |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 |
|--------------------|--|----------|-----------|---------------------------------|---|----------|-----------|-----|-------|----------------------------------|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 保護者の方のご意見 | |
| 保護者への説明責任・連携支援（続き） | 6 | | ○ | | 昨年12月中旬初の試みとして、茶話会を開催しました。参加は2家族のみでしたが、今後も継続していきたい。 | 16% | 8% | 33% | 33% | ・丁寧な連絡があり、ありがたい。 | ・第1回の茶話会にめげず、今後も保護者様が気軽に子育ての悩みなどを話し合える交流の機会を提案していきたい。 |
| | 7 | ○ | | | 対応の体制の整備をもっとわかりやすく周知できたらと思う。 | 83% | | | 17% | | ・何より、気軽に話し合える雰囲気作りが大切と感じます。体制の周知についても繰り返し対応したい。 |
| | 8 | ○ | | | 親しみやすい絵カードによるスケジュール製作をおこなっています。 | 100% | | | | | ・引き続き保護者様、利用者様の実態に合わせ、直接お話をしたり、ICT機器を用いて意思疎通、情報伝達に努めます。 |
| | 9 | | ○ | | 月毎の活動予定をお知らせをしています。もっと細かく情報を発信するように努めたい。 | 100% | | | | ・報告メールの写真やノート等で楽しそうな様子を見ることができる。 | ・時季をみた発信と毎月の行事予定のお知らせは実施しています。今後、安全確保のための各種マニュアルと関連付けた注意事項等の発信に努めていきたい。 |
| 10 | ○ | | | 昨年度、顔写真の取扱い範囲について、家族の意向を確認しました。 | 92% | | | 8% | | ・今後も個人情報の取り扱いには十分注意して参ります。 | |
| 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 ⑳ | | ○ | | 職員に周知しているマニュアルはあるが、保護者には充分周知されていないので、周知できるようにしたい。 | 83% | | | 17% | | ・引き続き、自然災害や感染症など、各時季に応じた実態に即した注意点や対応などを保護者様に発信していきます。 |
| | 2 | ○ | | | 年3回の想定を分けた避難訓練を行っていますが、参加児に偏りがあるため、結果や課題などの周知に努めたい。 | 75% | | | 25% | ・避難訓練もよくやっている。 | ・なるべく参加児に偏りがないようにしながら、年3回以上の訓練を行っています。実施した際には、ご家庭への報告を徹底していきます。 |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | |
|-----------------------------------|--|----------|-------------------|--------------------------|--|----------|-------------------|---------|-----------|--|--|
| | | はい | どちら ともい えない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちら ともい えない | いい え | わから ない | | 保護者の方のご意見 |
| 非常時等の 対応 | 3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子ども の状況の確認の実施 | ○ | | | 特に発作対応については、保護者からの手順書を確認しています。 | | | | | | ・服薬内容が変更された際には、その経緯、内容、注意事項等を保護者様から情報を得ています。 |
| | 4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 ④ | ○ | | | ・ご家族からの注意事項・対処法などをおさえるととも、医師の指示書があれば、対応します。 | | | | | | ・現在対象児はいませんが、ご家族や主治医から情報を収集、精査し、適切な対応を行います。 |
| | 5 安全管理の徹底 | ○ | | | 研修、訓練は少ないかと思えます。 | 83% | | | 17% | | ・ヒヤリハット報告や、日頃の小さな気付きも吸い上げ、リスク評価をして、必要に応じマニュアルに落とし込んで実践するプロセスを実施したい。 |
| | 6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取り組み内容についての、家族等へ周知 | ○ | | | まだ不十分なところがあるので、対応していきたい。 | 83% | | | 17% | | ・季節ごとに想定されるリスクを整理し、具体的な行動に結びつくよう、分かりやすい表現で周知に努めたい。 |
| | 7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 ④ | ○ | | | ヒヤリハット事例をもっと多く作成し、ファイリング、ミーティングでの話題に取り上げ、共有していきたい。 | | | | | | ・引き続き、ヒヤリハット事例を記録し、その要因を分析した上で今後の対応策をしっかり話し合い、日々の支援の中で、再発防止に全力で努めます。 |
| 8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 ⑨ | ○ | | | まだ不十分なところがあるので、対応していきたい。 | | | | | | ・引き続き、年2回職員全体の虐待防止研修会と関連機関が開催する研修会への参加を続けるとともに、振り返りをおこないながら、日常の支援に活かすよう努めます。 | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|-----|--------|----------|-----------|-----|--|----------|-----------|-----|-------|------------------|-------------------|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| | 9 | ○ | | | ヒヤリハット事例をもっと多く作成し、ファイリング、ミーティングでの話題に取り上げ、共有していきたい。 | / | / | / | / | / | ・同左 |
| 満足度 | 1 | / | / | / | | 100% | | | | ・自ら予約する日を選んでいる。 | ・引き続き、100%を目指します。 |
| | 2 | / | / | / | | 100% | | | | ・とても喜んで毎日通っている。 | ・引き続き、100%を目指します。 |
| | 3 | / | / | / | | 100% | | | | ・手厚く満足。 | ・引き続き、100%を目指します。 |